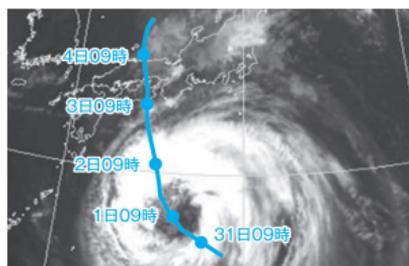


## 同一地域に長時間大量の降雨をもたらした台風12号による紀伊半島大水害（2011年8月30日～9月6日）

2011年8月25日にマリアナ諸島の西の海上で発生した台風12号は、日本の南海上をゆっくり北上して9月3日10時頃に高知県東部に上陸、18時過ぎに岡山県南部に再上陸しました。その後台風12号は4日未明に山陰沖に進み、5日15時に日本海中部で温帯低気圧に変わりました。台風12号は動きが遅く上陸後も大型の勢力を保っていたため、長時間、台風周辺の非常に湿った空気が流れ込み、西日本から北日本にかけて、広い範囲で記録的な大雨となりました。特に紀伊半島では降り始めの8月30日17時から総降水量が、多い所で1,800ミリを超えるなど、多数の地点で観測史上最多の雨量を記録しました。この記録的豪雨によって、奈良県南部で「深層崩壊」や「河道閉塞」が発生するなど、紀伊半島を中心に甚大な被害が生じました。

この大災害は「紀伊半島大水害」と称されています。

名称：平成23年（2011年）台風12号  
 発生日時：平成23年8月25日9時  
 発生場所：マリアナ諸島の西海上  
 最低気圧：965hPa  
 最大風速：35m/s



### ○被害状況



奈良県十津川村



和歌山県みなべ町（清川地区）

人的被害	死者数：83人、行方不明者数：15人、負傷者数：113人
建物被害	全壊：380棟、半壊：3,159棟、一部破損：466棟、 床上浸水：5,499棟、床下浸水：16,592棟
ライフライン (近畿圏)	電気：約20万戸停電 水道：約5万戸以上断水 固定電話：約3万回線被災

出典：内閣府・消防庁・国土交通省近畿地方整備局・NTT西日本の各ホームページ